

未来への取り組み②

～「ありがとう」が行き交う幸せなまち～

誰一人取り残さない社会を目指すまちづくりを目指し、地域住民による話し合いやワークショップなどを実施。また、町民全員が活躍できるための取り組みをご紹介します。

地域みらいづくり会議

地域住民が集まり、地域の未来について情報交換や意見交換を行うことで、地域の未来をみんなで作る話し合いの場です。広域的な地域課題などを今後どのように改善し、目指す地域像に向かうために広域連携と地域コミュニティ組織単独で、どのように取り組むかをまとめた「地域みらいづくり計画」を策定しました。

今後、この計画に基づいた取り組みを進めるために、さらに話し合いを重ね、広域連携の仕組みを深めていきます。



地域ごとに取りまとめた
「地域みらいづくり計画」

終了後、地域住民への
発表の場を設けました。



やはぱーく

令和8年4月で開館10周年を迎えた矢巾町活動交流センター「やはぱーく」。矢幅駅前に位置し、地域活動の拠点として多くの地域住民の交流の場となっています。やはぱーく主催のイベントやワークショップにも力を入れています。

各フロアを紹介

- 1階:さまざまな人が行き交う活動の場
- 2階:図書センターや学習スペースなどの学びの場
- 3階:ちびっこに人気の遊びの広場やキッチンスタジオ



インクルーシブなまちを目指して

子ども・子育てにやさしいまち

令和8年3月に策定した「矢巾町こども計画」に基づき、すべての子どもや若者が将来にわたって幸福な生活を送ることのできる社会の実現を目指します。

産後ケアなど、妊娠期からの子育て支援を強化し、子どもが健やかに育つことのできる地域づくりを行っています。



認知症の人にやさしいまち

令和4年度に「認知症の人にやさしいまちづくり やはぱ」を宣言、令和5年度に「矢巾町認知症とともに生きるまちづくり条例」を制定。認知症の人もそうでない人も、よりよく生きていくことができるよう、お互いを理解し、一人ひとりが自分らしく暮らしていけるまちを目指します。矢巾町地域包括支援センターが開催している「おれんじデー」や「おれんじカフェ」は、認知症の方やそのご家族の交流の場となっています。